

「Apple 税」の行方

—カリフォルニア州 Epic Games 対 Apple 訴訟判決と日欧の AppStore 手数料規制—

○王 威駟(Weisi WANG)

Keywords : Apple 税、競争法、プラットフォーム、アプリストア

1 目的

本研究の目的は、EU の Apple に対する調査と最近のカリフォルニア州 Epic Games 事件判決・日本公正取引委員会の審査などの Apple のアプリストア (AppStore) の手数料体系 (原則として売上の 30%) に対する各法域の規制活動状況をまとめた上で、アプリストアなどのプラットフォーム手数料体系に関連する競争法上の問題を解決するアプローチを明らかにすることである。

2 方法

本研究の調査・分析方法は、文献調査と事例研究 (ケーススタディ) である。具体的には、本研究は Apple のアプリストアの手数料体系を検討し、それに対する競争法上の評価 (研究者の論文等) を閲覧し、プラットフォームの手数料体系に関連する諸論点と各種の提言をまとめた。そして、カリフォルニア州 Epic Games 対 Apple 訴訟判決における裁判所の認定を検証した。

3 結果

調査・分析の結果、EU は Google Play 事件判決などを通じて伝統的な競争法アプローチによるアプリストア手数料体系の問題に対する規制について実績を蓄積したが、Spotify・Rakuten 電子書籍事件等に対する規制活動に非常に時間かかったことが分かった。それに対し、カリフォルニア州の Epic Games 事件判決は、Apple の市場支配的な地位を認定せず、アプリ以外の決済手段をブロックしてはならないことのみを判断した。また、日本公正取引委員会は Apple からの申出を音楽配信事業等における独占禁止法上の問題を解消するものであると認定した。

4 結論

以上により、EU 以外の競争当局は「Apple 税」について、Apple のアプリストア市場における市場支配地位・Apple 税が抱き合わせ行為に該当するか否かなどの問題に対する認定を避け、アプリ以外の決済手段に対するアクセスの確保に集中している。このようなアプローチを通じてアプリストア利用事業者の取引環境の改善に導くことを期待できるが、アプリストア市場の寡占・独占体制、自己優遇 (Apple Music 対 Spotify) などの問題の解決について、欧州委員会の調査状況と処理決定に注目しなければならない。

【主要参考文献】

1. Analysis Group (2020), *Apple's App Store and Other Digital Marketplaces A Comparison of Commission Rates*
2. Damien Geradin, Dimitrios Katsifis (2020), *The Antitrust Case against the Apple App Store (Revisited)*. TILEC Discussion Paper No. DP2020-035
3. Voelcker, Sven and Baker, Daniel (2020), *Why There Is No Antitrust Case against Apple's App Store: A Response to Geradin & Katsifis*.
4. Geradin, Damien and Katsifis, Dimitrios (2020), *Bringing an End to Apple's Anti-Competitive Practices on the App Store: A Response to Völcker & Baker* (September 17, 2020). TILEC Discussion Paper No. DP 2020-036
5. Epic Games, Inc. v. Apple Inc. Case No. 4:20-cv-05640-YGR
6. 公正取引委員会 (2019) 「デジタル・プラットフォーマーの取引慣行等に関する実態調査(オンラインモール・アプリストアにおける事業者間取引)について」
7. 公正取引委員会 (2021) 「アップル・インクに対する独占禁止法違反被疑事件の処理について」